

第69回全国建築板金業者茨城大会

ひたちなか市総合体育館

5月18日(木)



愛知県板金工業組合
発行 広報委員会
名古屋市中区北山町
3-8-6 〒466-0006
電話 052-732-1226



▲ テープカット

第69回全国建築板金業者茨城大会が、去る5月18日(木)、ひたちなか市総合体育館で開催された。愛知県板金からは、26名が17日(水)～19日(金)の2泊3日の行程で参加した。17日(水)、名古屋駅午前8時26分発の新幹線に乗車、豊橋駅にて4人が合流し、東京駅には午前10時過ぎに到着。ここからは貸切バスに乗り換え、まずは千葉県の真言宗智山派大本山「成田山新勝



▲ 式典会場

寺」に向かった。昼食をとった後は自由散策となった。その後は、伊能忠敬記念館、香取神社も見学し、午後5時には水戸市内のホテルに到着した。近くの食事処で全員で夕食とした後自由行動となった。18日(木)、午前8時にホテルを出発し、大会会場に向かった。午前9時からのテープカットを見学、午前10時からの式典には単独コースで参加の24名も合流し恒例の「ウォー！」に備えた。(今回タイムングを逃し、小野寺理事長の掛け声の写真がボケボケとなってしま



▲ 受賞者と理事長

右から
堀井貴義氏 伊藤 武氏
小野寺理事長 猪飼直樹氏
稲吉千尋氏

まい、広報委員として大失敗をしてしまう・・・) 大会終了後は、会場内でお弁当を食べ、展示会場等を見学し、午後1時30分、茨城県板の同志に見送られて会場を後にした。バスに乗った頃から雨がポツポツ降り始め、借楽園についた頃には傘が必要な天候となっていた。借楽園を午後3時頃出発し、常磐道、東北道、関越道とバスを走らせ、この日の宿泊地、群馬県磯部温泉「磯部ガーデンホテル」には午後6時過ぎの到着となった。午後7時からの懇親会では、綺麗どころ？も加わり、

表彰された4名の半強制的なカラオケ披露などもあり大いに盛り上がった。最終日19日(金)は、ホテル前で記念撮影をし、午前8時30分、世界遺産「富岡製糸場」に向かった。こちらではガイドの説明を聞きながらの場内見学であったが、約1時間30分の見学時間では少々物足りなく感じた。その後は高崎市内で昼食、関越道で東京に向かう。バス旅行では定番の「ビンゴゲーム」で、お土産も増え、予定より早い午後2時30分前には東京駅に到着、新幹線出発の時間までの2時間以上、



▶ 懇親会風景



▶ 記念撮影

最後のお土産を買う人、疲れてホームで爆睡する人、それぞれ時間を潰し、午後4時33分発の新幹線ひかりで帰途に着いた。
松浦(東三支部)

愛知県板金総合職業訓練協会 第39回 通常総会

愛知県板金総合職業訓練協会(井藤和美会長)

の第39回通常総会が平成

29年5月28日(日)名古屋栄

「中日パレス」で開催された。

愛知県下から会員33名

の他、来賓として愛知県

職業能力開発協会事務局

長・久保田勇男氏、愛知

県板金工業組合理事長・

小野寺俊一氏、中部ダク

ト工業協同組合理事長・

村上友章氏、名古屋板金

連合会長・谷倉好光氏、

尾張板金連合会長・大山

耕平氏、愛板知多支部長・

竹内竜之氏、当協会顧問・

長谷川信俊氏のご臨席を

賜わった。

津坂和豊氏(南支部)

の司会で定刻午後3時に

開始、物故者に黙祷を捧

げた後、谷倉氏が開会の

辞を述べた。井藤会長は

挨拶で来賓、会員の皆様

にご出席いただいたお礼

また訓練協会、専門学校へ

の事業協力のお礼と近況

報告を述べた。この後、

古橋正臣氏(瑞穂支部)

を議長に選出、議案審議

に入り1、2号議案の平

成28年度事業報告、決算

報告、平成29年度事業計

画案と収支予算案が原案

通り承認された。続く3

号議案、役員改選では松

野組織部長から井藤和美

氏再任の旨、発表があった。

来賓祝辞では久保田氏

から「認定職業訓練への

お礼と県内就業者数減少

に伴う技能伝承の課題、

19年から23年にかけての

技能五輪、アピリンピック

五輪国際大会に向けての

アピール」があった。ま

た小野寺氏からは「基幹

技能者の位置づけ、ダク

ト業界に続き内外装板金

でも外国人実習生の受入

れが可能となった。昨年

に続きカンボジアへ青年

部員と共に技術指導に行

く」と述べられた。

最後に浅井校長が閉会

の辞を述べ総会は終了し

た。 浅井(中支部)

県板青年部 勉強会・ 堀井君優勝祝賀会を開催

県板青年部は4月2日

(日)午後3時30分から幹事

会を岡崎市日名西町の高

柳板金(株)2階事務所にて

行った。その後午後5時

30分より高柳航一氏によ

る「ダイヤモンドタワー・

三角支柱」についての勉

強会を開催した。勉強会

から参加した部員も含め

17名が講習を聞いた。

最初にパソコンを使っ

て高柳板金(株)の普段の仕

事内容や三角支柱完成ま

での度重なる実験の様子

を説明を交えながら話を

聞いた。その後、発想の

転換から三角支柱を積み

上げる事を思い付き、「ダ

イヤモンドタワー」へと

変化して行くいきさつを

聞き、1階作業場にて三

角支柱を作る工程を見せ

てもらい、会社壁面や屋

根上にあるダイヤモンド

アートを見せてもらった。

その後は「岡崎ニュー

ブランドホテル」へと移

動し、2月に行われた「全

国建築板金競技大会」で

優勝に輝いた知多支部の

堀井貴義君の祝賀会を開

催した。

阿知和部長の挨拶後、

ビュッフェスタイルで会

食し、途中には全員での

記念撮影や阿知和部長よ

り堀井君と10位入賞を果

たした中川・港支部の

佐々木利浩君へ記念品の

贈呈もあった。

赤池(豊田支部)

以下は、堀井君からの

優勝メッセージです。

5度目の挑戦で、やつ

と念願の優勝をとること

ができました。応援して

くださったみなさま、助

言やアドバイスをしてく

ださったみなさま、あり

がとうございました。

今回はなにがなんでも

一位をとると決め、9月

ごろから練習を始めまし

た。今回の課題は寸法を

あわせるのがとても難し

く、とにかく苦労しまし

た。ひとまず県予選まで

に8個を作りましたが、

かたちにはなるものの、

とても競技大会に挑める

状態の作品ではありませ

んでした。

年が明け、そろそろ本

気で練習しないと間に合

わないと思いい、始めは展

開図をひたすらかき続け

ある程度短時間でかける

ようになつたところから作

品にとりかかりました。

とりかかったものの、ひ

とつ直せば他の所の寸法

がくるい、またひとつ直

せばまた他のところがく

るいと、とことん苦しめ

られました。どうしたら

うまくいくのかと、手に

とつてながめているうち

に抱きかかえたまま寝て

しまったこともありまし

た。今回の課題は高さを

合わせるのが難しく、大

会前日まで展開図を調整

し、当日をむかえました。

大会当日は仲間からの

期待にこたえなければな

らないうプレッ

シャーを感じながらも絶

対一位をとりたいたい

思いで4時間がすぎてい

きました。決して納得の

いく作品ではありませ

でしたが、大会まで自分

なりに精一杯がんばって

練習をしてきたので後悔

はありませんでした。

大会が終わったものの、

結果が気になり、なにも

手につかず、いてもたっ

てもいられない3週間

でした。

3月13日、結果発表。

ついに念願の一位をと

ることができました。

これからまた新たな目

標に向かつて挑戦してい

きたいと思えます!!

(堀井貴義)

編集後記

紙面の都合にて5月度の動き・編集後記はお休みさせていただきます。



六月一日(木)

五三七号 編集会議

広報委員 五名

午後二時半開会

五時閉会